

9月27日(土)	プログラム
9月28日(日)	プログラム
特別企画	
特別講演	
教育講演	
大会長講演	
シンポジウム	
ワークショップ	
アフエリシスミニマルチャ	
Asian Session	
シンポジウム	技術
技術講習会	
セミナー	モーニング
セミナー	ランチ
一般演題	
索引	

O-19	一般演題 5/Oral Session 5
ステロイド療法と LDL 吸着療法が著効したコレステロール塞栓症の 1 例	
帝京大学医学部附属病院腎センター 根本佳和、古西純子、久保英二、富丘聡、本間仁、太田樹、柴田茂、藤垣嘉秀、内田俊也	
81 歳の男性。70 歳頃 COPD、高血圧、脂質異常症、慢性腎不全を指摘された。3 か月前に肺炎、COPD 増悪にて他院に入院した。狭心 症状も認め CAG 施行するも有意狭窄はなかった。Cr 3.0 mg/dl 程度であった。退院後 1 か月以内に足趾の疼痛出現。呼吸困難にて当院 に救急搬送。大動脈弁閉鎖不全による心不全と診断され、利尿薬にて軽快した。入院時より右 4 趾、左 5 趾の黒色化と激しい痙攣を訴え た。両足底に網状皮斑、好酸球増加、Cr 3.86 mg/dl を認め、足趾皮膚生検でコレステロール塞栓症と診断した。プレドニン 30 mg/ 日、 さらに LDL 吸着療法を開始。足趾の疼痛は速やかに消失し、皮膚所見の改善を認めた。治療開始時 Cr 8.26 mg/dl が 4 週後 4.5 mg/dl と 下降した。治療開始後 6 か月の現在プレドニン 10 mg/ 日に減量し、腎機能も安定している。本例はコレステロール塞栓症に対しステロ イドと LDL 吸着療法が足趾に対し著効し、腎機能低下の進展抑制も認めた。コレステロール塞栓症に対する治療法は確立していないが、 本例のように LDL 吸着療法の効果が認められ例もあり、今後のさらなる検討が必要と考えられる。	
A case of cholesterol crystal emboli successfully treated with steroid therapy and LDL apheresis therapy	
Kidney Center, Teikyo University Hospital Yoshikazu Nemoto, Junko Furunishi, Eiji Kubo, Satoru Tomioka, Hitoshi Honma, Tatsuru Ohta, Shigeru Shibata, Yoshihide Fujigaki Shunya Uchida	
利益相反：なし	
O-20	一般演題 5/Oral Session 5
LDL 吸着を施行したコレステロール結晶塞栓症 6 例の検討	
島根大学 医学部 附属病院 腎臓内科 ¹⁾ 、島根大学 医学部 附属病院 血液浄化部 ²⁾ 福永昇平 ¹⁾ 、佐藤陽隆 ¹⁾ 、芦村龍一 ¹⁾ 、高瀬健太郎 ¹⁾ 、岩下裕子 ¹⁾ 、望月かおり ¹⁾ 、花田昌也 ¹⁾ 、伊藤孝史 ¹⁾ 、 椎名浩昭 ²⁾	
【背景】 コレステロール結晶塞栓症 (CCE) はカテーテル操作や抗凝固療法等によって、コレステロール結晶が飛散し全身の末梢血管が閉塞し発症 する。治療としてはステロイド薬や HMG-CoA 還元阻害剤、ARB、LDL 吸着など様々なものがある。	
【方法】 2009 年 4 月から 2014 年 3 月までの 5 年間に当院で LDL 吸着を施行したコレステロール結晶塞栓症 6 例について臨床経過、治療内容、 検査データを比較検討した。	
【結果】 症例は 5 例が男性、1 例が女性であった。平均年齢は 73±5.7 歳、基礎疾患として慢性腎臓病が 4 例、ASO、腹部大動脈瘤、糖尿病、脳 梗塞が各 2 例、拡張型心筋症、狭心症、家族性高コレステロール血症、心房細動が各 1 例であった。全例に Blue toe を認めた。血液検 査では BUN 48.2±13.4 mg/dL、Crea 4.67±3.01 mg/dL と腎機能障害を認め、Eo 7.6±5.6% と好酸球が増多していた。4 症例で LDL 吸 着療法に加えステロイド投与され、1 例で HMG-CoA 還元阻害剤投与された。4 例で Blue toe の改善を認め、2 症例は不変であった。2 例で血液透析が施行され、うち 1 例は離脱できた。	
【結語】 コレステロール血症塞栓症に対して LDL 吸着は有効であることが示唆される。	
LDL apheresis in cholesterol crystal embolization patients: 6 case reports	
Division of Nephrology, Shimane University Hospital ¹⁾ , Department of Hemodialysis & Apheresis, Shimane University Hospital ²⁾ Shohei Fukkunaga ¹⁾ , Hirotaka Sato ¹⁾ , Ryuiti Yoshimura ¹⁾ , Kentarou Takase ¹⁾ , Yuko Iwashita ¹⁾ , Kaori Motiduki ¹⁾ , Masaya Hanada ¹⁾ , Takafumi Ito ¹⁾ Hiroaki Shiina ²⁾	
利益相反：なし	